

60074

教科書文庫

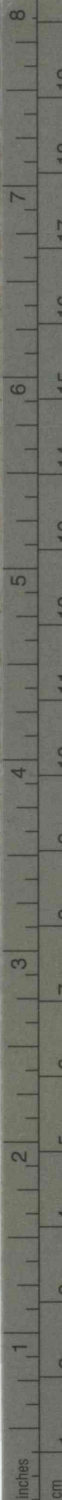
| |
|----------------|
| 右 |
| 760. |
| 34-1950 |
| 20000 66789 |

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

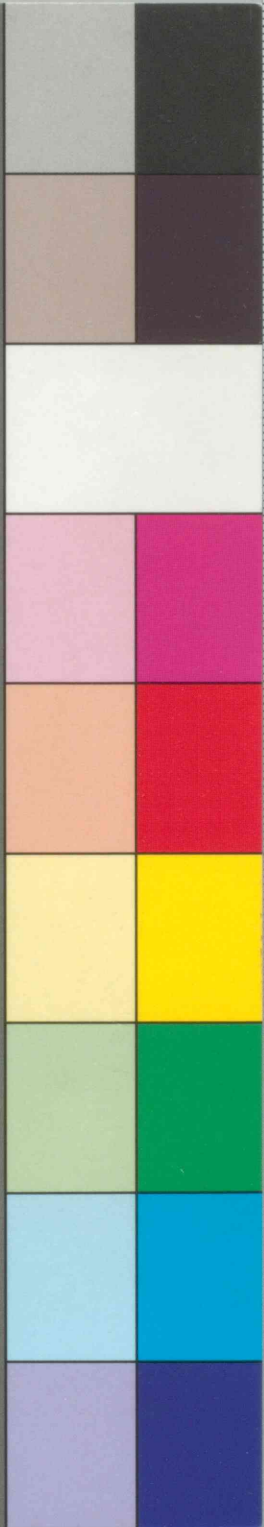


© Kodak, 2007 TM: Kodak



Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



© Kodak, 2007 TM: Kodak



| |
|------|
| 3a |
| 760 |
| A225 |

文部省検定済教科書

新しい音楽

| |
|----------|
| 10 |
| 春陽 小音605 |

中野義晃
小島喜久寿 岡本敏明
共編



六年

東京春陽堂発行

3a
760
BB25



まえがき

音楽の勉強は、進むにつれて、喜びが深くなります。学芸会や放送の音楽をきく時も、きつと楽しくなるでしょう。

歌唱や、作曲や、かんしょうだけでなく、自分でくふうして楽器を作り、しき(指揮)や ばんそう(伴奏)などをすれば 一そう面白くなります。ことしも この本を、一しょうけんめいに勉強して、音楽の美しさが もっと深くわかるように、つとめましょう。

六年のあいだ熱心に勉強することは、卒業してからも、きつと役に立つでしょう。



小学校音楽科用

資料室

新しい音楽

六年



東京 春陽堂 発行

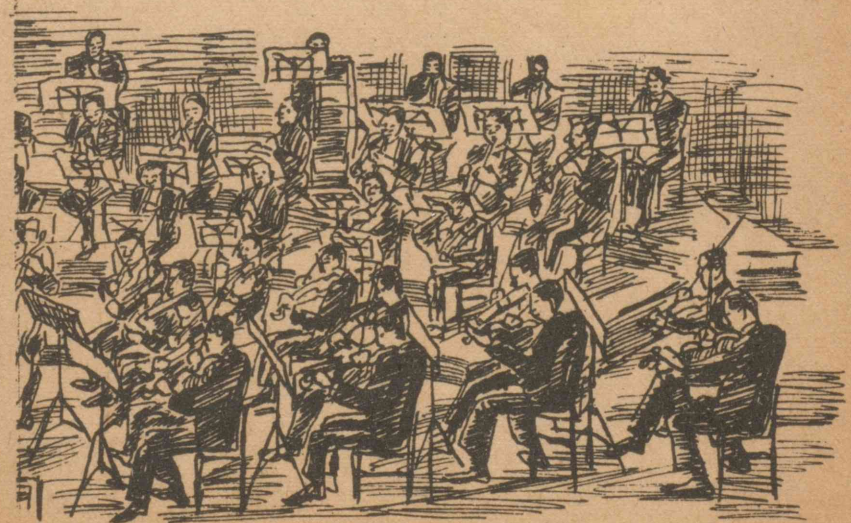
も く じ

一 ひばり..... 4
 二 おぼろ月夜..... 6
 三 五月の歌..... 8
 四 よろこびの歌..... 10
 五 母をたたえる..... 12
 六 夏野..... 14
 七 いこい..... 16
 八 山のこども..... 18
 九 登山の歌..... 22
 十 祭り..... 26
 十一 秋の田..... 28



オーケストラ

十二 秋の歌..... 32
 十三 星かげ..... 36
 十四 雪の朝..... 38
 十五 牧場の朝..... 42
 十六 スキイの歌..... 44
 十七 ピアノのけいこ..... 46
 十八 平和のかね..... 48
 十九 冬の歌..... 50
 二十 わかれ..... 52
 二十一 鐘の歌..... 56
 二十二 春が来る..... 60



ひばり

作詞 不明
ドイツ民謡

♩ = 84
mf

か す み た つ や そ ら の け し き
す み れ つ む や の ベ の け し き

か す み た つ や そ ら の け し き
す み れ つ む や の ベ の け し き

mp

おもしろ あがる ひばり あがる
おもしろ あがる ひばり こえは

おもしろ あがる ひばり あがる
おもしろ あがる ひばり こえは

mf

さ ま は ひ ら ひ ら ひ ら ひ ら
お ち て チ ョー チ ョー チ ョー チ ョー

さ ま は ひ ら ひ ら ひ ら ひ ら
お ち て チ ョー チ ョー チ ョー チ ョー

ひばり

かすみたつや、
おもしろ。
空のけしき、

あがるひばり、
あがるひばり、
あがるさまは、

ひらひら
ひらひら

すみれつむや、
おもしろ。
野べのけしき、

あがるひばり、
こえはおちて、

チヨ
チヨ
チヨ

●これは三部合唱です。二部合唱より また 一つふしがふえ
ました。一番上のふしを高音、中のふしを中音、下のふしを
低音といます。

●次の譜で 二長調の よみ方の練習を しましょう。

は る だ は る だ
は る が き た

おぼろ月夜

作詞作曲不明



一なのはなばたけにいりひうすれ
二さとわのほかげももりのいろも



みわたすやまのほかすみふかし
たなかのこみちをたどるひと



はるかぜそよふくそらを見れば
かわずのなくねもかねのおとも

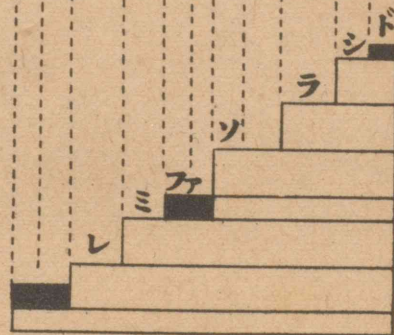
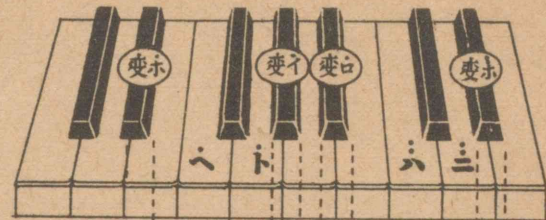


ゆうづきかかりてにおいあわし
さながらかすめるおぼろづきよ

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| さ | か | 田 | 里 | 夕 | 春 | 見 | な |
| お | な | わ | 中 | に | 月 | か | 入 |
| ぼ | が | た | 森 | お | 空 | わ | の |
| ろ | ね | の | の | お | そ | す | 花 |
| ら | ず | の | の | か | を | た | 一 |
| 月 | の | 小 | 色 | い | 見 | た | 日 |
| か | 音 | み | も | あ | れ | た | 煙 |
| す | も | み | か | り | ふ | た | に |
| め | ね | ち | げ | わ | く | す | の |
| る | も | を | も | て | し | は | は |
| | | | | し | | れ | |

おぼろ月夜

変ホ長調



- 変ホ長調の音階は 変ホ音から始まります。
ハ調の音階とくらべると、階段は同じですが、三つのくろいけんばんを使います。
- 八個の音でできている音階で、三音と四音、七音と八音の間がせまいものを、長音階といいます。このせまい階段を半音といいます。上の階段をよく見て、けんきゆうしましょう。
- 次の譜で変ホ長調のよみ方のれんしゅうをしましょう。



五月の歌

青柳善吾 作詞
モーツァルト 作曲

mf $\text{♩} = 138$

一たのしやごがつく さはも一えて お
ニうれしやごがつひ かげは一えて わ

mp

がわのきしにす みれに一おう や
かばのもりにこ とりう一とう そ

mf

さしそ一のはな みつ一つゆ一け ば こ
よろか一せふくこ か一げゆ一け ば こ

mp

ころも ころしそぞ一ろあ一る き
ころも すずしそぞ一ろあ一る き

五月の歌

一 楽しや五月、草はもえて、
小川のきしに すみれにおう、
やさしその花 見つつ行けば、
心もかろし、そぞろあるき。

二 うれしや五月、日かげ はえて、
わか葉の森に 小鳥歌う。
そよろ風ふく こかげ行けば、
心もすずし、そぞろあるき。

いろいろの調子(長調)の見分けかた

ハ調以外の調には、みな 音部記号の次に#やbの記号がつきます。
#やbのついている 場所とその数によつて、調の名前がかわつて
きます。下の図によつて よくおぼえましょう。

ドの場所の見つけかた

いろいろな調子の譜をよむ時には、ドがどこになるかを知ること
が大切です。

#のつく調では、一ばん右の#の音が シで、その一つ上がド
です。

bのつく調では、一ばん右のbの音が ファになります。
二つ以上bがつく調では、終りから二番目のbの音がドです。

よろこびの歌

岩佐東一郎 作詞
ベートーベン 作曲

$\text{♩} = 104$
mf

一はれたる あおぞら ただよう くもよ
二はなさく おかべに いこえる ともよ

ことりは うたえり はやしに もりに
ふくかせ さわやか みなぎる ひざし

mp

こころは ほがらか よろこび みちてみ
こころは たのしく しあわせ あふるも

一かわす われらの あかるき えがお
二ろびと こぞりて よろこび うたえ

晴れたる青空、
ただよう雲よ、
小鳥は歌えり、
林に森に。
こころはほがらか、
よろこびみちて、
見かわすわれらの
明かるきえ顔。

花さくおかべに、
いこえる友よ、
ふく風さわやか、
みなぎるひざし。
こころは楽しく、
しあわせあふる。
もろびとこぞりて
よろこびうたえ。

二部形式の曲

曲には いろいろな形のものがあります。「よろこびの歌」は次のような形です。

A

A'

B

A'

このような形のを 二部形式の曲と いいます。

- 今までに習ったうたの中で、この形で作られたものは どれでしょう。
- 二部形式の 初めの二段だけで できた曲もあります。これを一部形式の曲と いいます。「春がきた」のうたは 一部形式の曲です。
- 次の曲の A を 作ってみましょう。

A

A

よろこびの歌

岩佐東一郎 作詞
ベートーペン 作曲

♩ = 104
mf

一はれたる あおぞら ただよう くもよ
二はなさく おかべに いこえる ともよ

ことりは うたえり はやしにもりに
こふかせ さわやか みなぎる ひざし

mp

こころは ほがらか よろこび みちてみ
こころは たのしく しあわせ あふるも

一かわす われらの あかるき えがお
二ろびと こぞりて よろこび うたえ

晴れたる青空、
ただよう雲よ、
小鳥は歌えり、
林に森に。
こころはほがらか、
よろこびみちて、
見かわすわれらの
明かるきえ顔。
二
花さくおかべに、
いこえる友よ、
ふく風さわやか、
みなぎるひざし。
こころは楽しく、
しあわせあふる。
もろびとこぞりて
よろこびうたえ。

よろこびの歌

二部形式の曲

曲には いろいろな形のものがあります。「よろこびの歌」は次のような形です。

A

A'

B

A'

このような形のことを 二部形式の曲と います。

- 今までに習ったうたの中で、この形で作られたものは どれでしょう。
- 二部形式の 初めの二段だけで できた曲もあります。これを一部形式の曲と います。「春がきた」のうたは 一部形式の曲です。
- 次の曲の A を 作ってみましょう。

A

A

母をたたえる

♩ = 108
mp

作詞作曲不明



は は は わ が や を て ら す つ
は は は わ が や を て ら す ほ



き か や さ し や さ し あい
し か か き さ よ し き さ よ し あい



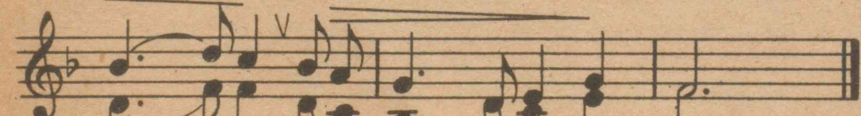
の ひか り や み を は ら い
の ひか り こ ら を ま も る つ



つよ もき まどかろくもだるな
よ き こ こ ろ く だ る な



し か く る な し は は を は
り ゆ る か ざ り は は を は



は を ほめよ たたえよ
は を ほめよ たたえよ

● 次の譜をみて 合唱の練習をしましょう。



母を、母をほめよ、たたえよ。

母は わが家を 照らす星か。

きよし、きよし、愛の光り。

子らを守る つよき心。

くだけざり、ゆるがざり。

母を、母をほめよ、たたえよ。

くもるなし、かくるなし。

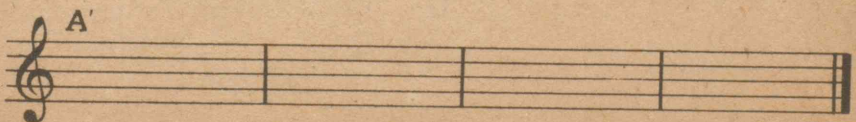
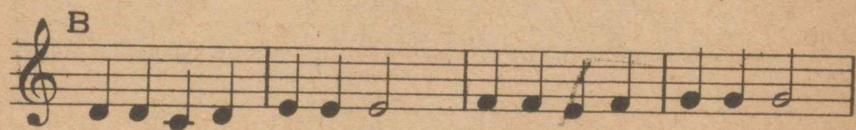
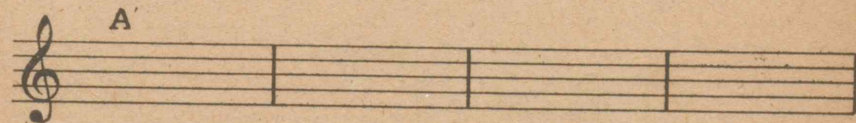
やみをはらい、いつも まどか。

やさし、やさし、愛の光り。

母は わが家を 照らす月か。

母をたたえよ

● 次の曲の A を作って、二部形式の曲を作ってみましょう。



夏 野

吉丸一昌 作詞
 望月久貴 作曲
 ウェーバー 作曲



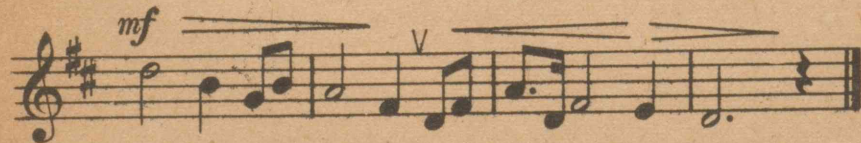
一 あおば—さん—り の じを—たどる
 ニ の べに—むる—る ま きの—こまの



うまお—い の か—さ—の う—え に—
 たてが—み をみ—だ—す か—ぜ ぞ—



し ろし—しろ—し ましろ—さゆり
 ひ かり—なび—く く さに—ひそみ

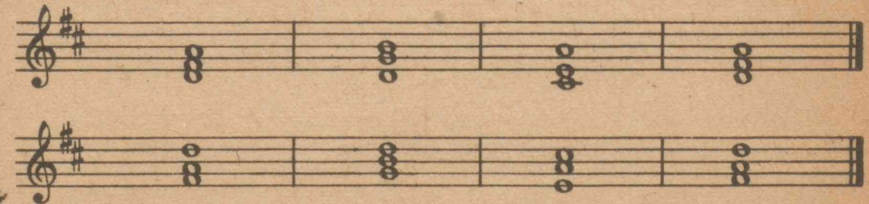


あ さか—ぜ にゆ—れてさ けり
 な くむ—しのし—ばしや み ぬ

夏 野

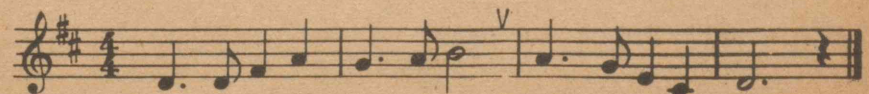
青葉三里 野路をたどる
 馬追いの かさの上
 白し白し 真白さゆり
 朝風に ゆれて咲けり。
 野べにむるる 牧のこまの
 たてがみを みだす風ぞ。
 光なびく 草にひそみ
 なく虫の しばしやみぬ。

●ニ長調の和音の いろいろな形です。



●下のふしは 上に書いてある和音で できています。

●上の和音を伴奏にして、次の歌を歌ってみましょう。
 和音を ハミングで合唱すると、もっと面白くなります。



す ずかぜ" こ かせ" あ さのう ん

いこい

詞作 貴久月望
曲の フランス

♩ = 120

mp p mf mp p

はならさくさくらかなすみにしずみ
きらめく銀河、流れる宵は、
白露むすぶ、千草の庭べ。
ともども語る、ひと日の幸を。

うたごえいつしか、消えゆく夕べに、
ともども語る、ひと日の幸を。

ふぶきか風か、雨戸にさわる。
いろりを囲み、たのしい夕げに、
ともども語る、ひと日の幸を。

にべぎに
あおげに
のけい
ゆさかし
えぐきの
きちつた
かふたみ
しすんこ
いむすか
えゆにを
こつぱり
たらきろ
うしのい

をををを
ちちちち
のののの
ひひひひ
とととと
ひひひひ
るるるる
かかかか
もももも
とととと

いこい

一 花咲くさくら、かすみにしずみ、
うたごえいつしか、消えゆく夕べに、
ともども語る、ひと日の幸を。

二 きらめく銀河、流れる宵は、
白露むすぶ、千草の庭べ。
ともども語る、ひと日の幸を。

三 こおろぎしげく、かなでる夜長、
のきばに澄んだ、月かげあおぎ、
ともども語る、ひと日の幸を。

四 ふぶきか風か、雨戸にさわる。
いろりを囲み、たのしい夕げに、
ともども語る、ひと日の幸を。

● 次のト長調の譜の読み方を練習しましょう。ことばもつけてみましょう。

● 下図は くりかえしの記号です。♩ の記号のところから始め
にもどって歌い、二度目の時には 1. を歌わずに
2. の方へ うつります。

山のこども

高橋掬太郎 作詞
平井保喜 作曲

♩ = 88

一 やまのは やして やま-はとか^が やまのこど-もを
 二 やまのこどもは やま-がすき きのみたべ-たべ
 三 やまでよんてる やま-はとは やまのこど-もの

一 やまのは やしてやま-はと
 二 やまのこどもはやま-がす
 三 やまでよんてるやま-はと

よん-ている ホー ホー ホー --ホー
 よく-あそぶ ホー ホー ホー --ホー
 おと-もたち ホー ホー ホー --ホー

か やまの こど-もをよん-てい る ホー
 き きのみ たべ-たべよく-あそぶ ホー
 は やまの こど-ものおと-もた ち ホー

一 やまのは やして やま-はとか^が やまのこど-もを
 二 やまのこどもは やま-がすき きのみたべ-たべ
 三 やまでよんてる やま-はとは やまのこど-もの

ぐみのこ かけて よんてい -る
 ぐみはあ おいよ まだあお -い
 ぐみのこ かけて よんてい -る

ホー ホー --ホー ぐみの こ かけて よんて
 ホー ホー --ホー ぐみは あ おいよ まだあ
 ホー ホー --ホー ぐみの こ かけて よんて

よん-ている ホー ホー ホー --ホー
 よく-あそぶ ホー ホー ホー --ホー
 おと-もたち ホー ホー ホー --ホー

よん-ている そ ら -よ-ぶ-よ -
 まだあおい ま た -あ-お-い -
 よん-ている ま た -よ-ぶ-よ -

い -る そ ら -よ-ぶ-よ -
 お -い ま た -あ-お-い -
 い -る ま た -よ-ぶ-よ -

よん-ている そ ら -よ-ぶ-よ -
 まだあおい ま た -あ-お-い -
 よん-ている ま た -よ-ぶ-よ -

三

山でよんでる 山ばとは、
 山のこどもの お友だち。
 ホー ホー ホー ホー
 ぐみのこかげで、よんでいる。
 またよぶよ。



二

山のこどもは、山がすき。
 木の実はたべ たべ、よくあそぶ。
 ホー ホー ホー ホー
 ぐみは青いよ、まだ青い。
 まだ青い。

一

山のこども
 山の林で 山ばとが、
 山のこどもを、よんでいる。
 ホー ホー ホー ホー
 ぐみのこかげで よんでいる。
 そらよぶよ。

これはティンパニです。
 打楽器の一種で、ドと
 ソの高さに合わせます。

バッハ



バッハは1685年に ドイツで生
 れました。その家からは代々
 すぐれた音楽家が、たくさん出
 ております。

バッハが十才の時、両親がなく
 なったので、兄にひきとられて、
 音楽の勉強をしました。大そう

勉強ずきて、兄の楽譜を、そつと月の光りでうつしとつた話は
 有名です。 たくさん名曲を残して、1750年に死にましたが、
 後の世の人は「音楽の父」といって、うやまっています。音楽
 の勉強をする人は、だれでも バッハの作った曲を研究しま
 す。 皆さんはどれだけバッハの作曲を知っていますか。

ミニエット

♩ = 96 バッハ 作曲

後略

登山の歌

♩ = 116 いさいと楽しく

岡本敏明 詞作
作曲

Musical notation for the first system on page 22, including vocal line and piano accompaniment.

Musical notation for the second system on page 22, including vocal line and piano accompaniment.

Musical notation for the third system on page 22, including vocal line and piano accompaniment.

mf

一かぜは そよぎ くもは はしり
二たには ふかい きりは はやい

Musical notation for the fourth system on page 22, including vocal line and piano accompaniment.

mf

Musical notation for the fifth system on page 22, including vocal line and piano accompaniment.

ひかる ひかる あきそらよ
すすめすすめ あきやまへ

Musical notation for the first system on page 23, including vocal line and piano accompaniment.

あおぐ みねは そそり せまる
うたう うたに こころはずみ

Musical notation for the second system on page 23, including vocal line and piano accompaniment.

合唱

うでを くんで さあ のぼろう *f* エイ
あしも かるく さあ のぼろう *f* エイ

Musical notation for the third system on page 23, including vocal line and piano accompaniment.

f エイ ホウ
p エイ ホウ
ホウ
— *f* エイ —
— *p* エイ —
ホウ
— *f* エイ —
— *p* エイ —
ホウ

や まびこ ひびくよ ちか かく
や まびこ ひびくよ と お く

登山の歌

風はそよぎ、雲ははしり、
光る、光る、秋空よ。
あおぐみねは、そそりせまる。
うでを組んで、さあのぼろう。
—
やまびこ ひびくよ、近く。
—
谷は深い、きりははやい、
進め、進め、秋山へ。
歌う歌に、心はずみ、
足もかるく、さあのぼろう。
—
やまびこ ひびくよ 遠く。
—
エイホウ、エイホウ、
エイホウ、エイホウ、

● 三部合唱の練習をしましょう。

そらは くもが あきがきた
たかい とぶよ あきがきた

ソシレファの和音です。階名で歌ってみましょう。

上の合唱の中でどこがこの和音でできているでしょう。

祭り

詞作 貴久月望
曲作 モーラ

mf $\text{♩} = 132$

— よ—こ— ぶえすり かねた—え— ないはやし
 二 か—ぐ— らをはや してに—ぎ— わうやたい
 三 あ—き— のひいつ しかお—ち— ゆくまつり

Fine.

お—や— このししたちた—わ— むれく—る—う
 ひ—く— うしゆる りとい—ま— しもく—る—よ
 た—い— こはたに まのか—す— みにひ—び—く

た—て— がみなび かせは—が— みのおと たつ
 あ—し— ぶみてびょうしふ—た— りはおも しろ
 み—ち— べのみせ にはあ—か— りがきら めき

rit. *D.C.*

か し ら に ふ る え る ち い さ な り よ う み み
 わ き め も ふ ら ず に い つ ま で お ど る
 か え り の ひ と び と な ご り を お し む

●この曲は どんな感じがしますか。

変ホ長調の調子記号がついていますが、変ホ長調ではありません。

変ホ長調の曲と 終りの音ぶを くらべてみましょう。

祭り

横ぶえ すりがね、絶えない はやし。
 親子の 獅子たち、たわむれ くるう。(くり返し)
 たてがみ なびかせ、歯がみの 音たつ。
 かしらに ふるえる、小さな 両耳

二
 かぐらを はやして、にぎわう 屋台。
 ひく牛 ゆるりと、今しも 来るよ。(くり返し)
 足ぶみ 手拍子、ふたりは おもしろ。
 わきめも ふらずに、いつまで おどる。

三
 秋の日 いつしか 落ちゆく 祭り。
 たいこは 谷間の かすみに ひびく。(くり返し)
 道べの 店には、あかりが きらめき。
 帰りの 人々、なごりをおしむ。

Fine

D.C.

●D.C.からはじめにかえり、Fineのところまで 終わります。前にならったと 同じです。

●次の譜で ハ短調の歌い方を 練習しましょう。

●♩は本位記号(ナチュラル)と います。#や♭で 変化した音ぶを、もとの音ぶにかへす記号です。

秋の田

桑田春風 作詞
シューマン 作曲

♩ = 100



てかも たたさ
れたかもの
ぼりたあき
なのおる
いみあみ
いやあや
しえしえ
れわのた
ういたら



よるぬに
つなきも
たつど
みろも
なみのと
ねのそと
かからこた
こたまた
のちを



こつれこ
ちつれこ
うちつれこ
まそうち
はいまそ
きはいま
と
いざいと
いざいと

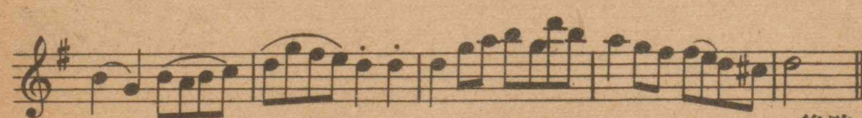
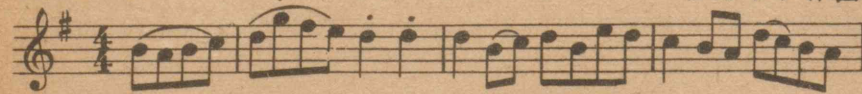


いれに
いれに
かりいれに
そぎゆかばや
いそぎゆかばや
かもちてい
かもちてい

ガボット

グルック 作曲

♩ = 96



後略

秋の田

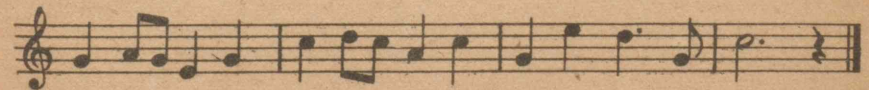
うれしや、いなぼたれて、
田の面、こがねの波たつよ。
祝えや、みのり豊か。
田のも たからの 海となる。
いざいざ、時は今ぞ。
うちつれ 小がまもちて、
いそぎ ゆかばや かりいれに。
たのしや、秋の田の面、
たりば 今こそ 色づきぬ
歌えや、みのる秋の
さちを たたえて ともどもに
いざいざ、時は今ぞ。
うちつれ 小がまもちて
いそぎ ゆかばや かりいれに。

● 次の「春がきた」の曲を、器楽で合奏しましょう。

どんな楽器を組み合わせたらいいか、くふうしてみましょう。

春がきた

♩ = 120



秋の田

♩ = 100

シューマン 作曲

トライアングル
カステネット
タンブリン

小だいこ
大だいこ

こえ
(ラで歌う)

秋の歌

岡本敏明作詞
ドイツの曲

$\text{♩} = 120$
mp

—しずかなあき—のひ
—しずかなあき—のよ

mp

—しずかなあき—
—しずかなあき—

mp

すすきはゆれ—るよ
こおろぎなき—なく

mp

のひすすきはゆれ—るよ
のよこおろぎなき—なく

*

p *rit.*

ゆらゆらゆら—ゆら
コロコロコロ—コロ

p *rit.*

ゆらゆらゆら—ゆら
コロコロコロ—コロ

p *rit.*

a tempo
mp

すすきはゆれ—るゆれ
こおろぎなく—よなくよ

mp

すすきはゆれ—るよ
こおろぎなき—なく

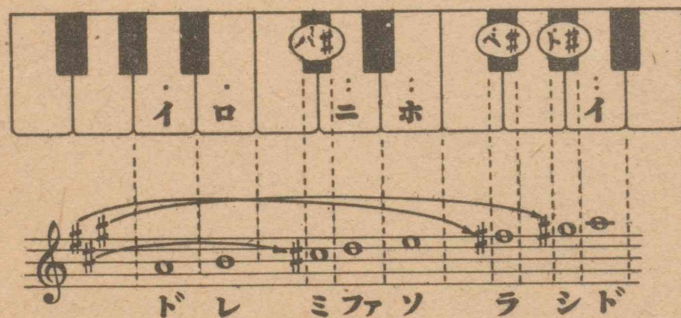
mp
a tempo

秋の歌

静かな秋の日、
 すすきは ゆれるよ。
 ゆら ゆら ゆら ゆら
 すすきは ゆれる、ゆれる。

静かな秋の夜、
 こおろぎ なきなく。
 コロ コロ コロ コロ
 こおろぎ なくよ、なくよ。

イ 長 調



イ長調の音階は イ音から始まります。けんばんをみて、#が三つつくわけを、考えてみましょう。

● 次の譜で、イ長調の歌い方を練習しましょう。



ベートーベン

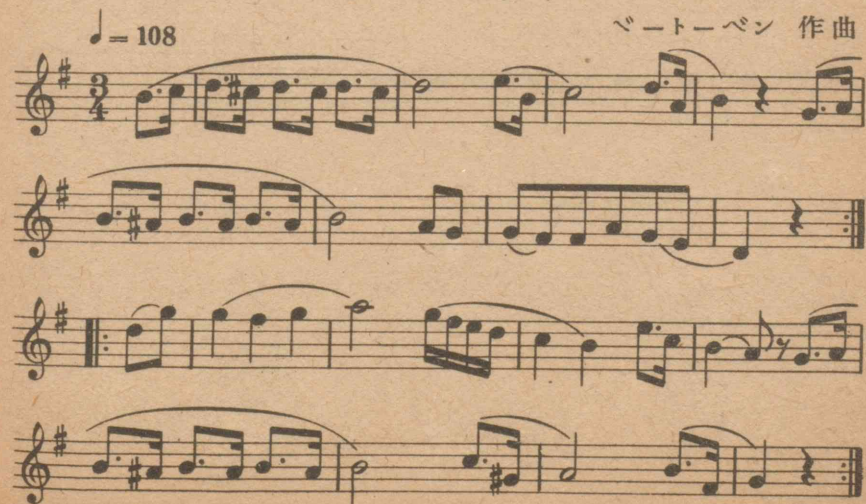


ベートーベンは 1770年にドイツで生まれました。父からきびしく音楽を教えられましたが、十七才の時 ウィーンに行つて、楽だんに名をなしました。びんぼうと病気とにまけないで勉強をつづけ 耳がきこえなくなつてもずっと作曲をつづけました。皆さん

は「月光の曲」というピアノの曲を、きいたことがあるでしょう。ベートーベンは こういうソナタやシンフォニーをたくさん作りました。皆さんはその中でいくつ知っていますか。もう少し詳しく、伝記や作品をしらべてみましょう。

ミヌエット

ベートーベン 作曲



後略

星 かげ 望月久貴 作詞
グールバー 作曲

♩ = 112

一よ一の みなと ふなりで さびし
二くらの のすえか なりじと おし
三よわの ちまた とよみ た ゆる

p dolce legato

なみたつ いそに てるほし かげよ
いでたつ かどに てるほし かげよ
うちみそらに てるほし かげよ

わがゆく て みちびかな
わがさだめ さとしあれ
わがいのち まもれかし

星 かげ

宵の港、船出さびし。
波立ついそに、照る星かげよ。
わがゆくて、みちびかな。

暗き野末、狩路遠し。
いで立つ門に、照る星かげよ。
わがさだめ、さとしあれ。

夜半のちまた、とよみ絶ゆる。
うち見る空に、照る星かげよ。
わがいのち、まもれかし。

●次のふしを階名でうたってみましょう。

(イ)

(ロ)

●(イ)はへ長調、(ロ)はハ長調ですが同じふしです。はじめに(ロ)をうたい、次に(イ)をうたうれんしゅうをいたしましょう。

雪の朝

大和田建樹 作詞
ウエーバー 作曲

♩ = 112

mf

いちどにはなさくかれののくさば
二みどりもかくるるそのおのまつば

f *mf*

いずこもはるめくふゆぎのさくら
すがたもうもるるかきねのささば

f *mf*

うつくしゆきのうらやま
くれまでふれよふれゆき

p *mf*

おもしろあしたのなかめ
あすまでつめつめゆきよ

雪の朝

一度に花咲く 枯れ野の草葉、
いずこも春めく 冬木のさくら。
美しく、雪のうら山。
おもしろ、朝のながめ。

みどりもかくるる そのおの松葉、
すがたもうもるる 垣根のささ葉。
くれまで ふれよ、ふれ、雪。
あすまで 積み、積み、雪よ。



げんがく四重奏



ピオラの演奏



ダブルベースの演奏

ワルツ ブリランテ

♩=108 シロパン 作曲

後略

牧場の朝

一
うるわし。

朝ぎり 牧場に、
ふかく こめて、
うすれ日 さし、

二
うるわし。

牧場に ことりは
はやも なきて、
朝日は てり、
うるわし（朝）。

牧場の朝

岡本敏明 作詞
モーツァルト 作曲

$\text{♩} = 170$
p

う る わ し あ さ ぎ り ま
し ま き は に こ

う る わ し あ
る わ し ま

き ば に ふ か く こ め て う す れ び も
と り は は や も な き て あ さ ひ は て

さ き り ま き は に ふ か く こ め て う
き ば に こ と り は は や も な き て あ

れ う る わ し あ さ
り う る わ し

す れ び さ し う る わ し
さ ひ は て り う る わ し



チャイコフスキー

チャイコフスキーは 1840 年にロシアで生まれました。はじめは法律の勉強をして役人になりましたが、後になって音楽学校に入りました。音楽の天分がゆたかでしたから たちまちヨーロッパ中で有名になり、

りっぱな作曲を数多く残しました。組曲「くるみわり人形」などは特に有名です。彼の作品は世界中の人たちに親しまれるような、きれいで なつかしい曲が多いのです。1893年に流行病にかかって急死しました。

アンダンテ カンタービレ

$\text{♩} = 60$ チャイコフスキー 作曲

後略

スキイの歌

作詞 不明
作曲 橋本 彦

♩ = 120

一 かがやくひのかげはゆ
二 とぶとぶおぞらはし
三 やまこえおかこえくた

るのやま かがやくひのかげはゆ
るだいちま とぶとぶおぞらはし
るたにま やまこえおかこえくた

るのやま ふもとをめぐけ
るだいちま ものみなしろきてん
るたにま たちませまこ

タートきれは こゆきはまたちかぜ
ちのうちを ストックかざし てわれ
だちよけすべればさながらひち

はさけぶかぜはさけぶ
はかけるわれはかけぶ
のここちひちのここち

●次のリズムを用いて、ふしを作ってみましょう。

4/4

スキイの歌

ピアノのけいこ

一 かがやく日の影、はゆる野山。
かがやく日の影、はゆる野山。
ふもとを目がけてスタートすれば、
粉雪は舞立ち、風は叫ぶ、
風は叫ぶ。

二 飛ぶ 飛ぶ 大空、走る大地。
飛ぶ 飛ぶ 大空、走る大地。
ものみな白き天地のうちを
ストックかざして われはかける、
われはかける。

三 山越え、おか越え、下る 谷間。
山越え、おか越え、下る 谷間。
たちまちせまる 木立よけて、
すべれば さながら 飛鳥のこころ、
飛鳥のこころ。

ピアノの けいこを いたしましょう。

まずまず右手、
ドレミファソ ソファミレド
こんどは左、
ドシドレミ ミレドシド
両手を一しよに、
ドレミファソ ソファミレド
ドレミファソ ソラソラ ソファミレドレ
(ドシドレ ミファミファ ミレドシドソ)
ドレミファ ソラソラ ソファミレド
(ドシドレ ミファミファ ミレドシド)
ほんとに楽しい、ピアノのけいこ。ポンポン。

ピアノのけいこ

西崎嘉太郎 作詞
作曲

♩ = 100

mf

ピアノのけいこをいたしましょ

mf

まずまずみぎて ドレミファソ ソファミレド こんどは

ひだり ドシドレミ ミレドシド りうてをいっしょに

ドレミファソ ソファミレド ドレミファソラソラ

Vmp

ドシドレミ ミレドシド ドシドレミファミファ

mp

ソファミレドレ ドレミファソラソラ ソファミレド

ミレドシドソ ドシドレミファミファ ミレドシド

f

ほんとにたのしい ピアノのけいこポホ

平和のかね

池田正俊作詞
イギリスの曲

♩ = 132

かやくほし かねがけ たかひくく
かなばらは やるさしき はるのいぶき
しここ ずかゆ にくの はさの てきざく ききは そひあらしを てらしたる
けだかきのぞみをこのよにか かけて
せかいのこどもとこころをそろえて
うたごえたのしくて にてをつ なぎて

い わ の か ね の ね いた ま ぞ な ら せ
い わ の か ね の ね と ま え も ず に な ら せ

平和のかね

かがやく星かげ 高く 低く、
静かに はてなき 空を照らす。
けだかきのぞみを この世にかかげて
平和のかねの音、いまぞ 鳴らせ。

うなばらはるかに 船をうかべ、
こぎゆくさきざき 東に 西に、
世界の子どもと 心をそろえて、
平和のかねの音、絶えずならせ。

すみれはやさしき 春のいぶき、
小道の野ぎくは 秋をかたる。
歌声たのしく 手に手をつなぎて、
平和のかねの音、ともにならせ。

「」のしるしのあるところは、声がむらになりやすいところです。
むらにならないように 練習しましょう。

冬の歌

古関吉雄 作詞
ドイツ民謡

♩ = 96

●この曲は 低音部の音ぶをオクターブ下げると、そのまま伴奏になります。

野原を雪が おおいつくし、
空には 鳥の まわぬ朝も、
かかやきおどる 日ざし見れば、
さびしい思い 消えて ほがら。

二

ふく風さむく 木々をゆすり、
こずえはさわぎ さけぶ夜も、
いろりをかこむ ほおはもえて、
楽しい歌に 声もはずむ。

冬の歌

イ短調

短音階は 階名のラから始まる音階です。半音のある場所を、
長音階と よくくらべてみましょう。
短音階では、ソの音を半音高くすることが よくあります。
「冬の歌」もそのように なっています。

●イ短調の和音

わかれ

望月久貴 作詞
ドイツ民謡

♩ = 84

p

一 ひのみ たつ まちよ またくるひま まで
 二 みどりしく のべよ またくるひま まで
 三 きよくすむ かわよ またくるひま まで

mf

と も と あ り し お も い あ ら た
 げ ん げ つ み し お も い あ ら た
 こ ぶ ね こ き し お も い あ ら た

mf

p

き しゃ は い ま い ず る わ が ふ る さ と よ
 き しゃ は い ま は し る わ が ふ る さ と よ
 き しゃ は い ま わ た る わ が ふ る さ と よ

わかれ

一 火の見 立つ町よ、
 また来る日まで。
 友と ありし 思いあらた。
 汽車は いまいずる、
 わがふるさとよ。

二 緑しく野べよ、
 また来る日まで。
 げんげ つみし 思いあらた。
 汽車は いまはしる、
 わがふるさとよ。

三 清くすむ川よ、
 また来る日まで。
 小船 こぎし 思いあらた。
 汽車は いまわたる、
 わがふるさとよ。

楽典のぬきがき

1. 三連符 二等分する音を 三等分したもの。



2. 切分音 同じ高さの弱拍と強拍との音符が
むすばれて、アクセントが弱拍に
うつったもの。



3. 日本音階

陽 音 階 陰 音 階

4. タ イ 同じ高さの音符をつなぐ
記号。



5. ス ラ ー 高さのちがう音符をつな
いで ならかに歌う記
号。



6. フェルマータ 音符 または 休符を
特にのばす記号。

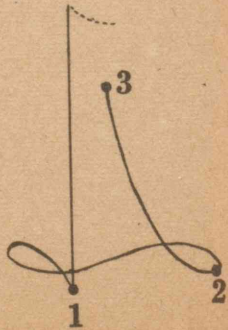


9. しきのしかた

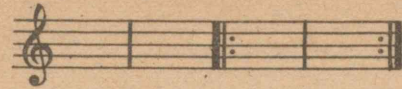
二拍子



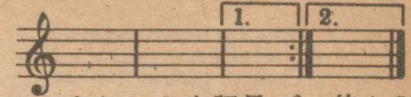
三拍子



7. いろいろのくりかえしの記号



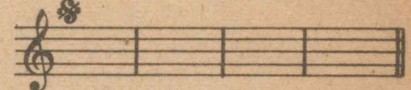
くりかえす記号



くりかえす記号で、終りの
ところがちがう。

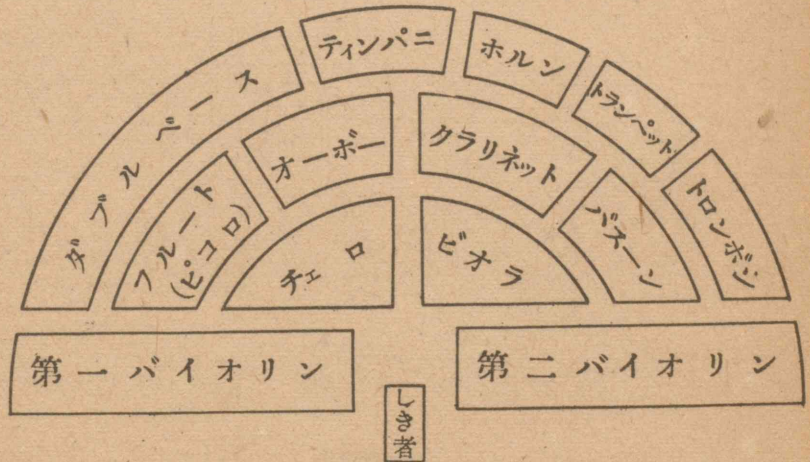


D.C. から はじめにかえり、
D.C. まで終る記号

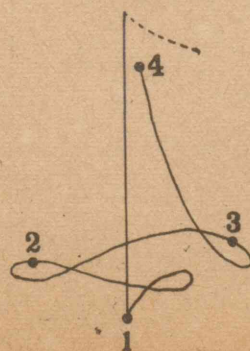


D.S. から ♪ のところへ
かえる記号

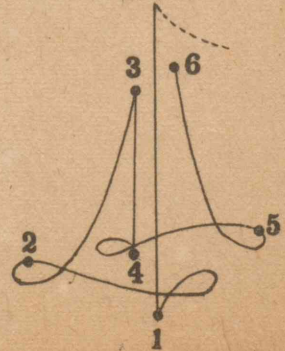
8. オーケストラのならば方



四拍子



六拍子



鐘の歌

岡本敏明 作詞, 編曲
モーツァルト 作曲

軽快に ♩ = 132

8-----最後まで-----

(鐘の音を模して)
sempre p

mp

きき

けや さやに ひーひく かね ララ
けや さやに ひーひく かね ララ

mp

ラ ララ ラ ララ ラ ララ ラ ララ ゆうしー

や み こ む る の を こ え て ララ
じ ま こ ふ か き よ を か け て ララ

mf

ラ ララ ラ ララ ラ ララ ラ ララ ラ みー
ラ ララ ラ ララ ラ ララ ラ ララ ラ みー

みにに ひびく やた さの しう た ララ
 み に ひ ひ く や た さ の し う た ラ ラ

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
 ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
 ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ

rit. rit.

鐘の歌

きけや、さやに — ひびく鐘。
 ラララ ラララ。
 ゆうやみ こむる 野をこえて、
 ラララ ラララ。
 耳にひびく やさし歌。
 ラララ ラララ。
 きけや、さやに 二 ひびく鐘。
 ラララ ラララ。
 しじま 深き 夜をかけて、
 ラララ ラララ。
 耳にひびく たのし歌。
 ラララ ラララ。

春が来る

春が来る。 —
 春が来る。
 南の そよ風、
 さきだてて、
 春、春、
 春が来る。 二
 春が来る。
 春が来る。
 春が来る。
 春、春、
 野に 山に。
 かすみは たなびく、
 春、春、
 春が来る。

春が来る

遠山 雅子 作詞
小林 福子 作曲

やさしく ♩ = 100

mp

は る か
は る か

mp p

V

く る は る か く る
く る は る か く る

mp

mf

み な み の そ よ か ぜ さ き だ て て
か す み は た な び く の に や ま に

mf

み な み の そ よ か ぜ さ き だ て て
か す み は た な び く の に や ま に

p

は る る は る る

mp

は る か く る は る か く る
は る か く る は る か く る

mf

は る か く る は る か
は る か く る は る か

mp

みなみのそよかぜさきだてては
かすみかたなびくのやまに は

る は る は る ーか くる
る は る は る ーか くる

み だ し

うたい方

- へ長調の二部合唱のうたい方... 13
- ハ長調の三部合唱のうたい方... 25
- 二長調のうたい方..... 5 15
- 声の出し方..... 49

譜のうたい方

- 変ホ長調..... 7
- ハ短調..... 27
- ト長調..... 17
- イ長調..... 34

楽器の練習

- 楽器の組合せ方..... 29
- 器楽曲..... 30.31

作曲の練習

- 一部形式の作曲..... 11
- リズムによる作曲..... 44
- 二部形式の作曲..... 13

かんしょう

- バッハのミヌエット..... 21
- ベートベンのミヌエット..... 35
- グルックのガボット..... 28
- ショパンのワルツ..... 41
- チャイコフスキーのアンダンテカンタービレ..... 43

楽典

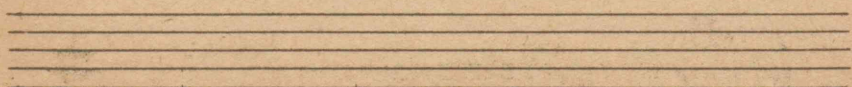
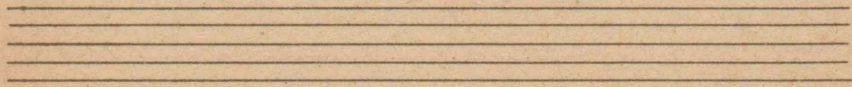
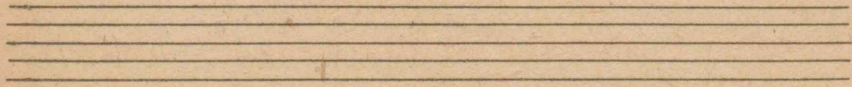
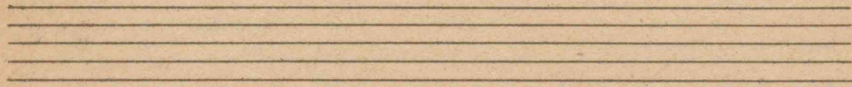
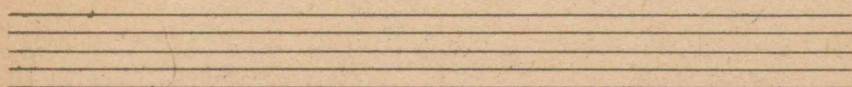
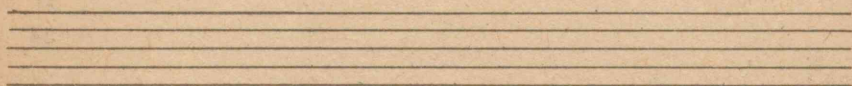
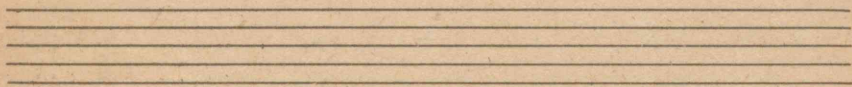
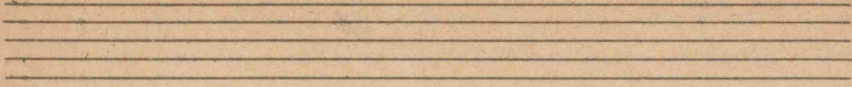
- 変ホ長調の音階..... 7
- ドの見分け方..... 9
- 二長調の和音..... 15
- ハ短調..... 26
- イ長調音階..... 34
- ぬきがき..... 54.55
- 調子の見分け方..... 9
- 一部、二部形式..... 11
- ソシレファの和音..... 25
- くりかえし記号..... 19 27
- イ短調音階..... 51

伝記

- バッハ..... 21
- チャイコフスキー..... 43
- ベートーベン..... 35

音楽の絵

- オーケストラ..... 2.3
- げんがく 四重そう..... 40
- ティンパニ..... 20
- ダブル ベース..... 40



| | |
|----|-------|
| 10 | 小音605 |
| 春陽 | |

新しい音楽 小学六年

(総紙数64頁)

昭和25年 月 日印刷
 昭和25年 月 日発行

APPROVED BY MINISTRY OF EDUCATION
 (DATE 1950)

著者 鳥居忠五郎
 ◆ 中野義見
 ◆ 小島喜久壽
 ◆ 岡本敏明

東京都中央区日本橋通三丁目8番地
 発行者 株式会社春陽堂
 代表者 和田欣之介
 東京都大田区田園調布一丁目1314番地
 印刷者 株式会社金羊社
 代表者 浅野剛

発行所 東京都中央区 日本橋通三丁目 株式会社 春陽堂

